

ASPAC 2004 名古屋大会への取組み

全員参加の奮闘記

名古屋大会組織委員長(03、04年度会長) 齋藤 蒔しげる



会場の名古屋マリオットアソシアホテルのボールルーム・名古屋市消防局ブラスバンドの演奏で盛大な開会式

どうする・ASPAC

第29回ASPAC（アジア太平洋総会）との出会いは本番の04年3月から遡ること三年半前のことになる。わが名古屋クラブが受け持ってやることになるらしいと聞かされ、その準備もあるので副会長に、とのご推挙を戴いたが、まさかそれからこのASPACなるものと長い長い格闘が始まろうとは考えてもいなかった。

それは丁度雲のかかった遥かなる山の頂きを目指す登山のような気分だった。どこが登山口で、果してどんな装備、準備でかかれば期日までに頂上に辿り着けるか。この会議のプロトコル（取決め）、仕組は、そしてどんな予算が組めるのか…。これらは後々一步一步、歩を進めて行くに従い、眼前の霧が晴れ次第に視界がひらけて来るように、文字通り案ずるより産むが易いと覚ることになるのだが、正直最初はクラブ全体がこんな手探りの気分に包まれていた。心配が募り極まる時、人は開き直る。山より大きな鼠は出ない、やるしかない、01年10月に小山委員長の下に、常例の各委員会から関係するメンバーを集めた準備のための組織（後に委員会）を立上げることになった。

「全員参加」「自ら楽しむ心境で」をモットーにしていよいよ準備に取りかかる。一人でやることには限りがあるが、志をひとつに、常に情報の共有化を心がけて、一人ひとりが自身の問題として受け止めることが出来ると組織は俄然威力を発揮する。ASPACは元来、遠来のキワニアン、ゲストを迎え旧交を暖め、平素の活躍ぶりを紹介し合う楽しい場である。これをやろう、あれは出来ないかと、まずはおもてなしづくりを楽しむ精神でと心懸けることにする。

ASPAC・取組み開始

最初に始めたのは情報集めである。日本地区が第7回の東京大会に次いで取り組んだのが阪神大震災直後の第20回大阪大会であるが、それから既に多くの年月が経過していた。日本地区事務局や大阪クラブを煩わせて当時の資料を探し出すなど、多々ご指南、ご協力を戴いておぼろげながら全体イメージの見当をつける。

むろん当クラブにはそれまで何回もASPACや世界大会に出席したことのある会員も少なくなかったが、何分それはゲストの立場であり、ホスト側として大会の全体像や舞台裏の仕掛けを知るものではない。そこで、名古屋大会のアピールの必要もあり、02年のタヒチ、03年のパースの両大会に参加し、ホスト役の目線で、つぶさに観察してこようと言うことになった。タヒチ大会では日本地区から初めて世界理事にチャレンジされる佐藤候補の選挙もあり、名古屋クラブも22名の会員、家族を送り出した。そしてめいめいが受付から会議、パーティ、エクスカージョンに至るまで、用意したチェックリストで総点検。翌年のパースは急遽マレーシアのコタキナバルに変更になったが、名古屋大会を翌年に控え28名の大使で臨み、各国の要人とも接触を心懸けた。

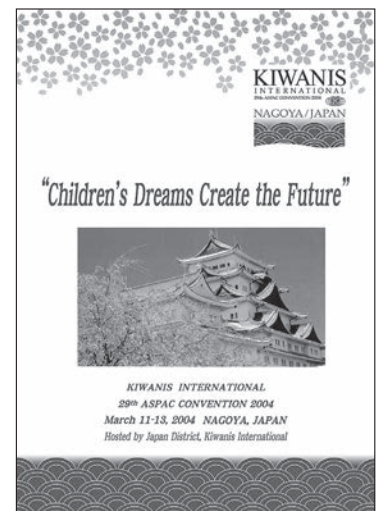
結果から見ると何れの大会もリゾート地での開催で、会場は自然に囲まれた全館貸切のホテル、流れる時間も実にゆったりとしていて、都心のシティホテルとなる名古屋ではそのままお手本というわけには行かない。日本では日本流で、名古屋らしさを出すのが一番だと割切ることにした。

その中でコタキナバル大会を取り仕切るコ・チエマン（当時）のリ・カンユー氏らに時間を割いてもらい、大会の準備、運営について懇切丁寧なアドバイスを聴くことが出来たのは実に有難かった。携帯電話を片手に会議の進行にテキパキと指示を与えながらの対応だったが、多方面の協力者を動員した周到な準備があったことを知り、身の引締まる思いでもあった。その意味では、03年12月になってASPACのP・キンバリー議長とキワニス・インターナショナル（KI）のコラス・ノーリン部長にわざわざ名古屋に足を運んでもらい、会場の下見から日程の細部まで下打合せ願ったのも大変有難かった。何事も「会うのが一番」と言われる通りで、数々の疑問点の解消とともにその後の準備作業の詰めに向けて極めて有益な示唆が得られた。

加えて、ASPACのメンバーには経済的にも多様な国々があり、為替格差の問題が存在することも実感した。つまり同じ登録料200ドルでもその使い出のある国ほどその負担感も大きいのである。コスト高の日本で満足戴ける内容の大会を資金面の制約の中でどう遣り繰り出来るか。これについては、会員のチャンネルをフル活用して、数々のボランティア組織や多くの協力者のご支援を戴いたり、地元中心に少なからぬ協賛寄付や物品提供を仰ぐなどで乗り切ることが出来た。

万博との不思議なめぐり合わせ

併せて早々に手をつけたのが大会のスローガン決定とロゴマークづくりである。大会の正式エントリーのためには統一テーマであるスローガンは日本地区としての方向付けが必要で、小堀ガバナー（当時）のご指導を得て「子どもたちの夢が未来をつくる」（Children's Dreams Create the Future）とした。未だ貧困や疾病に悩む途上国、少子化や心の病に直面する先進国と、いつの時代も犠牲になるのは子供達。「ヤングチルドレン・プライオリティワン」を掲げるキワニスクラブとして、未来を担う子供達が夢を大きく育める状況づくりには何が出来るか。ここでも「日本に相応しい、名古屋だからやれることは何か」を考えること



(※1) ロゴマーク入りの公式プログラム



フォーラムのマリ・クリスチヌ愛知万博広報プロデューサー

になる。

折しも名古屋では翌年に「自然の叡智」「地球大交流」をテーマに万国博覧会が開かれる。21世紀の始めに、自然に学び自然とどう共生するかをモノづくりの風土、蓄積豊かなこの地で考えようということだ。このお祭りは理屈なしで子供達の未来への夢を育くむ大きなきっかけになる。それはキワニスクラブの取組みともベクトルを同じくしている。加えてこの万博と名古屋クラブとは奇しくも不思議なめぐり合せがあった。つまり、30年前、クラブ創立十周年記念事業で1800本の樹木

を寄贈したのが今回万博のメイン会場となった旧青少年公園であり、その時の樹木は「キワニスの森」として大きく育ち、会場の「森林体感ゾーン」の一角に組込まれて大勢の観客の眼に触れることになっている。それに当クラブのチャーターメンバー・トヨタの豊田名誉会長が万博協会の会長をお務めになる因縁もある。お蔭で名古屋大会への豊田会長のご出席、スピーチを始め、マリ・クリスチヌ広報プロデューサーのASPACフォーラムでの講演、万博会場ジオラマの展示などなど、大会スローガンを軸に記念すべき万博とのつながりが深い大会となった。

大会のロゴマークは地元の愛知県立大学の学生コンペで選ばれた。日本伝統の「青海波」を主題に、アジア太平洋のキワニアン達の海を越えた広がりや連帯をシンボライズした素晴らしい作品で、プログラム(※1 63頁参照)やポスター、バナー、ピンバッチ、名古屋クラブの法被などを次々と飾ることになる。

大会の設計図と部品づくり

一年間の勉強段階を終えて02年10月からは準備委員会を実行委員会に格上げした。ヒト、モノ(コト)、カネの各要素を設計図に描き、テーマごとの内容について責任を分担して詰め始める。コタキナバル大会のアジェンダ(議事日程)やプロシジャ(手続、要領)、それに大阪大会の予算記録などを参考に大まかな大会日程、予算、準備項目・スケジュールなどの部品を集め組立ててみるが、まだまだ見当づけの域を出ない。そんな中で、拡大事務局と称して陣容を強化し、テーマ別のグループごとに作業に着手する。スケジュール上急ぐものから、案内状の作成・発送、登録・受付及び宿泊の管理システム、予算・会計の仕組み、会議やセレモニー、パーティ、エクスカーショ等設営、プログラム・アジェンダ等の制作・編集、VIPを始めとする接遇計画など、これらは後に本番当日の進行管理・役割分担に再編成することになるが、11のテーマ別にチームを編成(※2 70頁参照)した。そして各チーム毎に責任者と構成メンバーを決め、検討すべき項目をリストアップして一覧表に整理し、例会の前後等で定例的に持った打合せで進捗状況と問題点をチェックして行った。担当チーム内のメンバーのみならず、チーム横断の拡大事務局メンバー間での報告、調整を通じて、また、例会の席上折に触れて行ったクラブ全体への報告や要請とも相俟って、情報の共有化が進み、後々の実行段階で大きくものを言うことになる。

詰めるに従って増える一方の検討項目

検討を進めれば進める程詰めるべき項目は減るどころか逆に増えてくる。タイムリミットに向けて大から

中、中から小へと具体化に向けてやるべき事柄は次第に細分化され、検討項目相互の関連（※3 71頁参照）も見え始める。最終的には、本番当日用の項目も含めて累計で約70、その細目は約160まで膨らんだ。実行委員会の議論は次第に白熱化の様相を呈して来たが、それだけ準備作業に気合が入って来た証拠だと内心喜んだものである。

いよいよ組織委員会立上げ

ASPACは名古屋クラブが実行部隊を引受けたが、開催のホスト役は日本地区である。登録料の決定や日程の設定、会場の選定などは日本地区としてオーソライズし、KIとASPAC本部の了承をとりつける必要がある。また、国内各クラブへの参加者数目標や欠席数見合の負担金の提示、それに日本地区としての拠出金の額も決めて戴くことになる。このような実務を踏まえ、日本地区の役員会・総会において地区レベルでの組織委員会を立上げる必要があり、03年3月の暫定措置に続き10月段階で正式に発足（※4 72頁参照）した。名古屋クラブの実行委員会を裏打ちにして、当クラブ会長を委員長、日本地区ガバナーを大会最高顧問、各クラブ会長を参与、大阪クラブ会長を監事に頂いてオール日本地区体制の下、機動的、効率的運営を全う出来る形が整えられた。以下、主なテーマを中心にその準備内容と顛末について簡単に記しておきたい。

〈大会日程関係〉

大会三日間の日程の大枠（※5 72頁参照）は、前述のアジェンダ、プロシジャで定められている。会議をより充実させるため日程をもう一日追加しようと言う議論もこれまでであったようだが、費用負担の問題もあり、既に準備に取り掛かっていた名古屋大会では見送りになった。

初日の3月11日は、登録受付の他は役員だけの会議、夫人プログラムと招待夕食会。例年この夕食会と日程がかち合うのが台湾主催のチャイナナイトだが、結局今回は取り止めになった。

二日目は開会式に始まり、夕刻にウエルカムパーティ（ASPACナイト）。この間最終日のフェアウエルパーティまで、一般会議、フォーラム、プレス会見やワークショップ等が続き、役員選挙や規約改正などで熱気を帯びる。その傍ら、終日に亘って各地区が独自の活動ぶりをアピールする展示が行われ、最終日の表彰を競う。併せて万博のジオラマや地元少年発明クラブの作品も特別出展。ボランティアによる呈茶や会員の豪華な生け花、伝統のからくり人形や七宝焼の実演なども大会スローガンに添って会場を盛り上げた。また、ものづくりの原点、産業・文化施設を尋ねるエクスカッションやゴルフにも多くの参加があった。



R・ムーアKI会長を先頭に開会式の入場行進



役員会議のひとつ



エクスカーションは産業技術記念館見学など



和服姿での呈茶にご満悦の外国女性たち

オープニングの開会式では、R・ムーアKI会長、P・キンバリーASPAC議長を始め、各地区ガバナー等の役員夫妻が名古屋市消防音楽隊の演奏の中、グランパスエイトのチアガールに導かれて入場し、壇上に勢ぞろいする算段。大会直前までこれらVIPの出欠や行進順が定まらず、プラカードやスクリーン表示とのシンクロもあって気をもんだが、本番では見事堂々の行進で大喝采を浴びた。

メインイベントのウェルカムパーティでは、多くの参加者でホールの収容力が心配される程だったが、VIPの配席問題も含めてピタリ注文通りに収まり、ホテル自慢の料理も大好評でまずは安堵。なお、幹盃の樽酒やビール等の飲料は協賛企業の提供でふんだんに振舞うことが出来た。

ここで特筆しておきたいのは、地元の神田知事、松原市長、それに豊田万博会長がそれぞれに議会や多忙な公務を差し繰って臨席戴いたことである。特に松原市長と豊田会長はキワニアンでもあり、就中チャーターメンバーの豊田会長には閉会式・フェアウエルパーティで最初から最後まで席に居て戴けた。各国のキワニアン、ゲスト達と気軽に談笑され、合唱に加わり、記念写真に応じておられた姿は、会場に親近感と深い感銘を呼んでいた。

アトラクションも、焼きものの町で万博会場にもなった瀬戸の少年太鼓やセラミック楽器の演奏などで、この地域ならではの演出になった。また、綿密に練ったシナリオによる進行管理や各国語の司会、同時通訳の確保にも会員のチャンネルがフルに活かされた。出席者に過不足のない通訳体制には頭を悩ませたが、用意した高価なレシーバーの紛失を万全の構えでゼロに抑えたのはこの種会議では珍しいとか。



各国キワニアンに囲まれるチャーターメンバー豊田会員(万博会長)



お揃いの法被姿でウェルカムパーティ出席の名古屋クラブ会員



子供たちの熱演に会場から大きな拍手と喝采が



各地区のお国ぶりが勢揃いした活動展示

〈案内、登録等のシステム関係〉

大会日程の詳細な詰めと併行して、第一段、次いで第二段の案内資料を国内・外に発出した。登録料のタリフは勿論、宿泊もメインのマリオットホテルの他、至近の二つのホテルを押さえた。会議、宴会用の部屋の確保も旅行、婚礼のシーズンだけに参加者数や大会日程の見極めでギリギリの時限まで調整が残った。その意味では大会用プログラムの編集、印刷も同様で、何度も校正を重ねることになる。難航した理由のひとつに出席になるVIPのリストと顔写真がなかなか揃わないことがあり、その背景にはビザの発給問題もあった。これには過去に前例があり今回もその危惧があったので、一部の国からの参加予定者リストについては、予めKIのお墨付きを取り付け、個人別の招待状を出す一方、写しを現地の日本大使館に送って審査の円滑化を期待したが、折からのテロ警戒の状況もあってか、相当数が来日に間に合わなかった模様で残念だった。

なお、もうひとつ心配のタネ、サーズ（肺炎）の再流行の方は幸いにして杞憂に終わってくれた。

大会登録や宿泊などの管理についてはインターネットを介してJTBの予約システムで処理できたのは大助かり。KIやASPAC事務局とのやりとりについても、インターネットの普及で重宝したばかりでなく経費的にも大変安上がりになった。

〈予算関係〉

ASPACの予算は手弁当での準備、実行を前提に出来上がっている。

まず収入計画は、国内・外からの会員、ゲスト約700人余の登録料、日本地区としての拠出金、各クラブからの欠席者数見合いの負担金、それに大会プログラムへの協賛広告料等で約3000万円を見込む一方、経費としては、会議運営費、会場運営費、印刷通信費、全体運営費、宴会・会食費その他で同額を見積もった。収支実績（※6 73頁参照）で見ると、見落しや見積り不足などもあって費用が約800万円余り上回ることになった。

これについては、収入面で国際会議誘致として名古屋コンベンションビューローからの会議費補助金（約100万円）が認められたため、差引不足分をホストクラブとして集めた協賛広告及び個人寄付の上積みと、



P・キンバリー議長と木村ガバナー



法被姿のR・ムーアKI会長、松原市長らによる鏡割り

一部催しの名古屋クラブ主催への切り替えなどで補った。

心配した登録料は予期せぬ為替変動やアーリーバード指向などがあり、見込み違いはあったが、幸いにも国内335人、海外427人、計762人と予想以上の参加（※7 73頁参照）を載せてカバー出来た。

関連して、会員のチャンネルをフルに活かした働きかけで無料出演、物品や便宜の提供等で実に多くのボランティア団体、個人、施設の皆さんのご支援、ご協力（※8 73頁参照）を頂戴した。心からの謝意を込めて特筆しておきたい。

〈本番当日の進行管理、接遇関係〉

容赦なく期日が迫ってくる中で、未了の事柄の詰めを急ぐ傍らで、本番シフトを固め始める。直前二月の例会はASPACモードに切替え、全体状況の周知徹底を図るとともに当日の分担（※2 70頁参照）は、総括班以下、会議、行事、VIP接遇、登録・受付案内、広報・展示、エクスカーションの計7班。これらに各々準備作業を進めてきた11の担当チームの責任者を中心に適宜チームメンバーを割当て、全員参加で再編成した。そしてこれら各班同士で円滑な連絡と連携プレーがとれるよう、初日から三日間の日別の日程表に、受付、会議、セレモニー・パーティ、各種催事ごとの時間割、場所、出席者名、議題テーマ等の内容をプロットした一覧表「総合進行表」（和・英）を作成。事務局責任者が常駐する「指令センター」の設置や「無線連絡電話」の配置も行った。また、セレモニー・パーティ等の進行管理については会員関連の専門職に無理をお願いし、そのための詳細な「進行台本」を何度となく練り直して作成し、徹底を図った。

来賓、役員については、ご本人、同伴者の到着便から出発便までの行程を把握するとともに「総合進行表」を基に、各人別の出番、座席割などをチェックして一覧表にし、極力マンツーマンの接遇体制をとったが、これも本番当日まで内容の確定がずれ込むケースもあった。

本番当日は、会員一人ひとりが役割分担に従って配置につき、ロゴマーク入りの法被姿で空港、駅の案内デスクや会場の受付、エクスカーションの案内役などの持場に散った。大会プログラムを始め20種類以上の参加者用品をキャリーバッグに詰める作業は、本番直前日の半日、ホテルの一室に関係者を総動員して取組みひと汗かいた。

本番はあつと言う間に

不安と確信の交錯する中で詰めの作業を急いだが、時は日一日と非情にも過ぎ去り気がつくとも本番突入。

国内・外からの800人近い参加者や、来賓、講師の出席、そして多くの支援者、ボランティアの方々の協力を戴いて、三日間の大会日程は望外の盛上りのうちにあつと言う間に閉会を迎える。お蔭さまでKIのR・ムーア会長を始め各役員、各国ガバナーの皆さんから最大級の賛辞を頂戴することが出来た。

これは、名古屋クラブを挙げて注いだ足掛け三年間にわたる悪戦苦闘のエネルギーが三日間の本番に凝縮されて迸り出た成果だったと言うことだろう。そこには会員一人ひとりの献身的働きはもちろん、ここにいちいち紹介出来なかったが、会員それぞれのチャンネルをフルに活かした多くのボランティア、団体の協力取りつけが随所で大会を支えた。

それにしても本大会は天、地、人、つまり開催のタイミング、地域的利点、人的つながりに恵まれたと言うのが実感である。そしてそれを活かす組織力は「全員参加」「情報の共有化」でもたらされた。共通の目的意識、イメージを共有できた組織はゴールが見え始めると俄然ボルテージが上り、本番に至って一気に全体が動き始めたのである。自ら流した汗は如何に快いか。これは久し振りの実感であったが、それは平素ややもすると自ら汗をかくことなくお金で済ませようとしていたかを思い知らされることにもなった。これらの貴重な経験は到底言葉では言い尽くせないし、取組んだ数多くの関係者一人ひとりの記憶に刻まれているものであるが、ここにその一端を記したものである。

末筆になるが、KIの佐藤理事、日本地区の木村ガバナー、小堀前ガバナーを始め組織委員会（※4 72頁参照）に関わられた多くのメンバー、事務局の皆さまには一貫して暖かいご指導、ご支援を戴いた。ここに各位に深甚なる敬意と謝意を表して締めくくりとしたい。



ASPAC報道記事を速報して好評だった広報コーナー

名古屋大会アピール

IN タヒチ

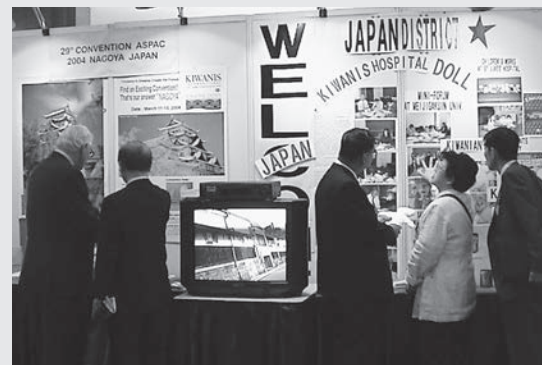


名古屋大会PRブース

IN コタキナバル



VTRでプレゼンテーション



名古屋大会PRブース

(※2) 準備体制

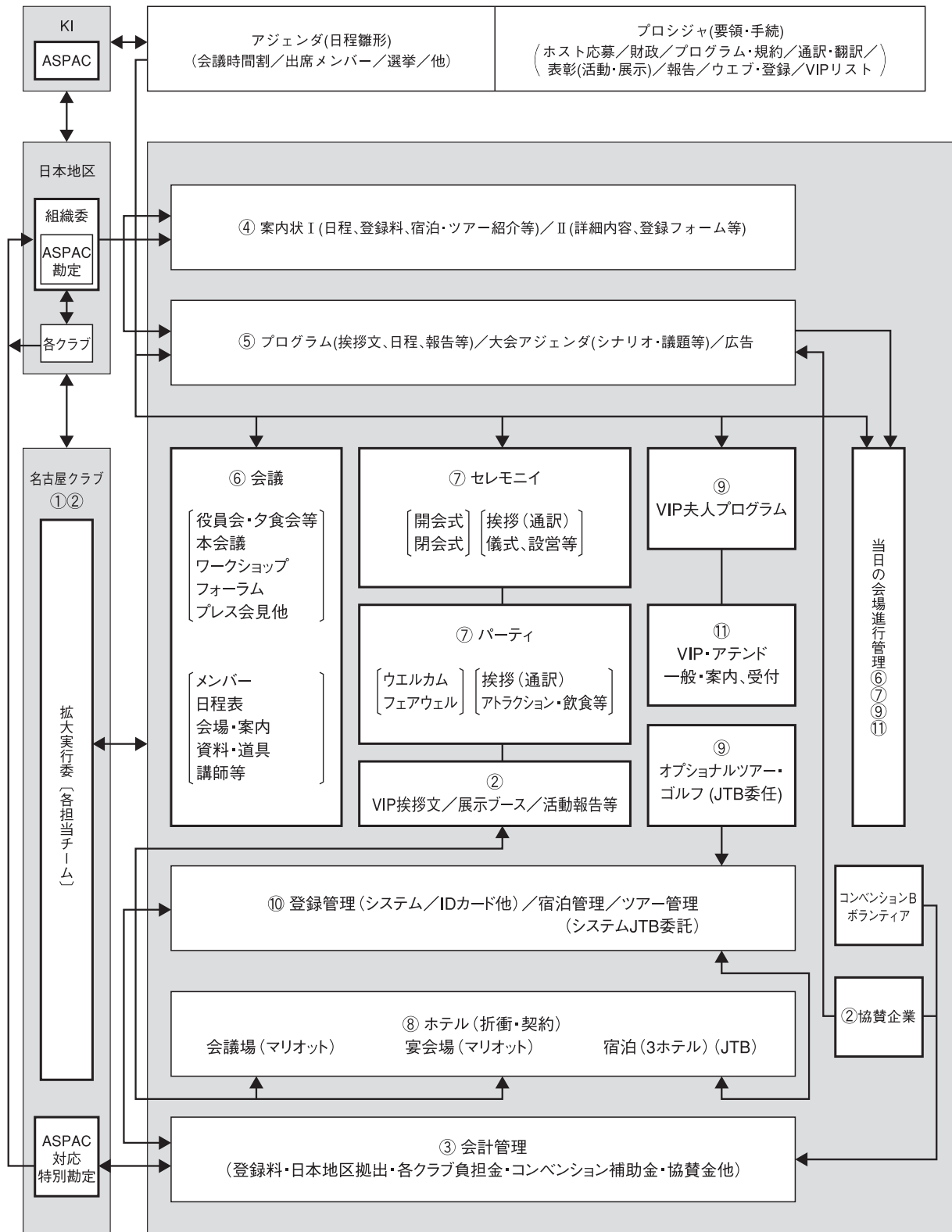
当日体制

	担当チーム	主な作業内容
総務 広報	① 総括	全体日程、場所、予算枠、組織、 参加目標・促進／他
	② 広報・渉外	PR、広告、展示等報告、スローガン、 ロゴ、プレス、記録／他
財務	③ 財務・会計	ASPAC会計、収支予算、執行、為替、 コンベンションビューロー／他
企画	④ 案内状	案内状（I、II、個別）、参加見込、 パフォーマンス報告／他
	⑤ プログラム	プログラム編集、装丁、原稿・写真、 翻訳、印刷、議事日程／他
	⑥ 会議設営	会議次第、昼食・夕食会設定、 通訳、会議支援、フォーラム／他
	⑦ 行事計画	式・宴会次第、会場設営、台本・演出、 司会・通訳、総合進行、映像／他
	⑧ ホテル手配	会場・控室・案内看板、展示場、料理、 飲料、価格折衝、宿泊、予約管理／他
	⑨ エクスカーション	ツアー手配、案内資料、ゴルフ、 夫人プログラム／他
運営	⑩ 登録管理	登録システム・フォーム、集計管理、 IDカード、業託契約／他
	⑪ 案内・接遇	受付・現地デスク、記念品、法被、 VIP接遇、救急、デモ・バザー／他

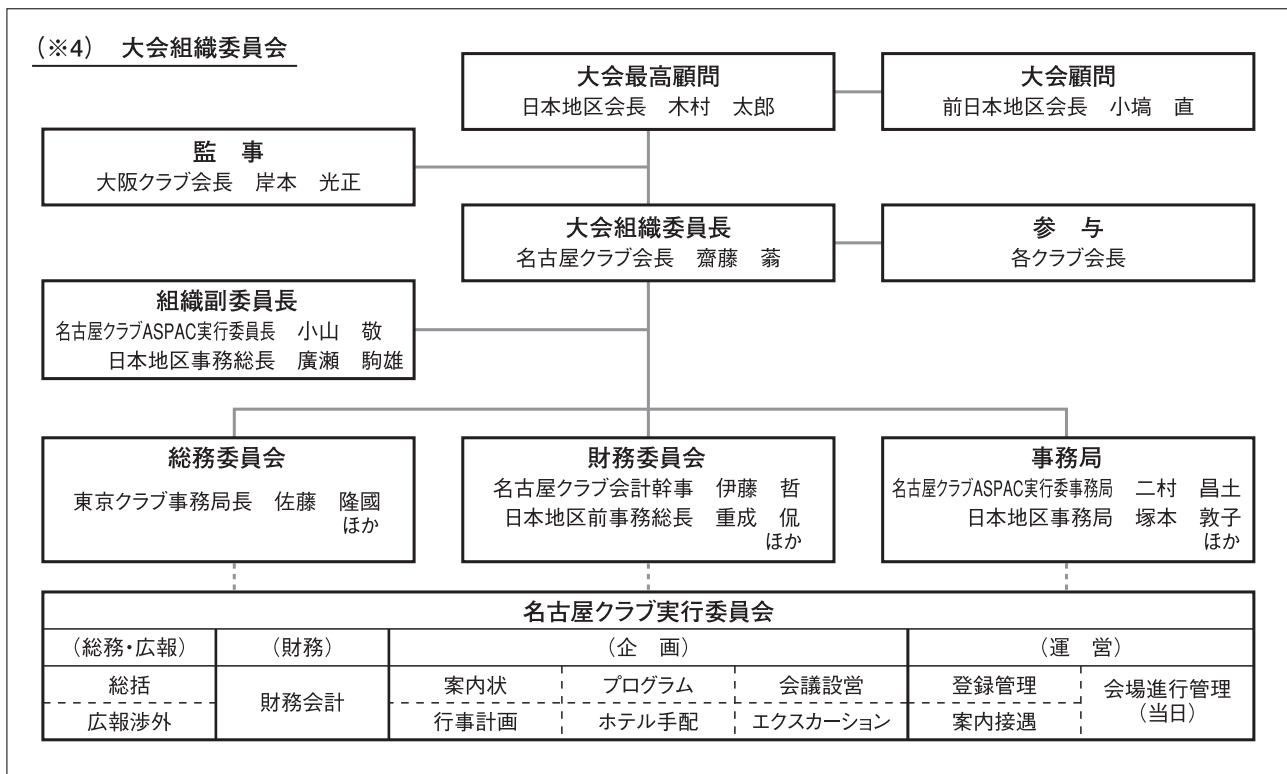
担当班	会員名
総括	齋藤、小山、三村（高櫻）、 相羽、小野、小竹、田中（君）、 山下（邦）
広報・展示	片桐、白井、服部、酒井、 尾藤、石田、小森、江口、 大島、川村、杉本、中林、 福原、三宅、村上、森、 山本、山中、吉田（明）
会場設営	入谷、宮田、九鬼、 鈴木（正）、田辺、伊藤（克）、 尾関、加藤、木ノ原、 中村（孝）、初鹿野、原、前川
セレモニー・ パーティ	和田、伊藤（千）、佐々木、 深山、栗栖、安藤、渋谷、 鈴木（信）、那須、飛騨、船山、 水谷、山岡
VIP・ 夫人接遇	富田、井上、清水、堀籠、 福西、青山、石黒、石原、 池永、磯谷、稲井、川澄、 田中（富）、土川、坂、武山、 西、野嶋、三輪（尚）
登録受付・ 案内	大見、戸谷、池田、高木、 三輪（勝）、伊藤（宗）、神野、 鬼頭、金原、近藤、田中（一）、 中長、中村（隆）、矢田、矢野、 山下（善）、山田、吉田（康）、 吉田（稜）、渡辺
エクスカーション・ ゴルフ	岡本、伊藤（哲）、神谷、 杉山、都築、赤尾、大津、 太田、岡田、岡山、河合、 竹内、丹下、平山、星野、 古田、宮崎、山川、吉田（敏）

(敬称略 □ __ は世話役)

(※3) 準備テーマ(分担)の関連チャート



(注) ○の数字は準備担当チームの番号



(※5) 大会日程

3/11 (木)	3/12 (金)	3/13 (土)																																																																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align:center;">8:00</td><td colspan="2">ガバナー、次期ガバナー 合同会議</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">10:30</td><td colspan="2">役員ブレイク</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">10:45</td><td style="text-align:center;">ガバナー会議</td><td style="text-align:center;">次期ガバナー会議</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">12:30</td><td colspan="2">役員ランチ</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">13:30</td><td colspan="2">ASPAC役員会</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">14:00</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td style="text-align:center;">17:00</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td style="text-align:center;">18:30</td><td colspan="2">役員夕食会 (招待者)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">20:30</td><td colspan="2">-----</td></tr> <tr><td colspan="3"> ・受付 8:00～17:00 (注)3/10役員受付 ・展示 終日 ・夫人プログラム ・エキスカージョン (A、B、ゴルフ) </td></tr> </table>	8:00	ガバナー、次期ガバナー 合同会議		10:30	役員ブレイク		10:45	ガバナー会議	次期ガバナー会議	12:30	役員ランチ		13:30	ASPAC役員会		14:00			17:00			18:30	役員夕食会 (招待者)		20:30	-----		・受付 8:00～17:00 (注)3/10役員受付 ・展示 終日 ・夫人プログラム ・エキスカージョン (A、B、ゴルフ)			<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align:center;">9:00</td><td colspan="2">開会式</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">10:30</td><td colspan="2">ブレイク</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">10:45</td><td colspan="2">ゼネラルセッション I</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">11:30</td><td colspan="2">キワニスフォーラム</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">12:30</td><td colspan="2">昼食会</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">13:30</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td style="text-align:center;">14:00</td><td colspan="2">ゼネラルセッション II</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">15:30</td><td style="text-align:center;">ブレイク</td><td style="text-align:center;">プレス会見</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">15:45</td><td style="text-align:center;">ワークショップ</td><td style="text-align:center;">15:30～16:00</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">16:45</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td style="text-align:center;">18:30</td><td colspan="2">ウエルカムパーティー (ASPACナイト)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">21:30</td><td colspan="2">-----</td></tr> <tr><td colspan="3"> ・受付 8:00～17:00 ・デモンストレーション 12:00～14:00 (お茶、からくり人形、七宝焼き) ・展示 終日 (ロゴ入りポロシャツ、Tシャツ、有松絞り、七宝、万博グッズ) ・バザー 10:00～17:00 ・エキスカージョン (B) </td></tr> </table>	9:00	開会式		10:30	ブレイク		10:45	ゼネラルセッション I		11:30	キワニスフォーラム		12:30	昼食会		13:30			14:00	ゼネラルセッション II		15:30	ブレイク	プレス会見	15:45	ワークショップ	15:30～16:00	16:45			18:30	ウエルカムパーティー (ASPACナイト)		21:30	-----		・受付 8:00～17:00 ・デモンストレーション 12:00～14:00 (お茶、からくり人形、七宝焼き) ・展示 終日 (ロゴ入りポロシャツ、Tシャツ、有松絞り、七宝、万博グッズ) ・バザー 10:00～17:00 ・エキスカージョン (B)			<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align:center;">8:30</td><td colspan="2">ゼネラルセッション III</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">10:30</td><td colspan="2">ブレイク</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">10:45</td><td colspan="2">ASPACフォーラム</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">11:45</td><td colspan="2">----- (役員ランチ) -----</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">13:30</td><td colspan="2">ASPAC合同役員会</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">15:30</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td style="text-align:center;">18:30</td><td colspan="2">フェアウエルパーティー・閉会式</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">21:30</td><td colspan="2">-----</td></tr> <tr><td colspan="3"> 受付 8:30～11:00 展示 終日 (17:00～片付け) バザー 10:00～19:00 </td></tr> </table>	8:30	ゼネラルセッション III		10:30	ブレイク		10:45	ASPACフォーラム		11:45	----- (役員ランチ) -----		13:30	ASPAC合同役員会		15:30			18:30	フェアウエルパーティー・閉会式		21:30	-----		受付 8:30～11:00 展示 終日 (17:00～片付け) バザー 10:00～19:00		
8:00	ガバナー、次期ガバナー 合同会議																																																																																																	
10:30	役員ブレイク																																																																																																	
10:45	ガバナー会議	次期ガバナー会議																																																																																																
12:30	役員ランチ																																																																																																	
13:30	ASPAC役員会																																																																																																	
14:00																																																																																																		
17:00																																																																																																		
18:30	役員夕食会 (招待者)																																																																																																	
20:30	-----																																																																																																	
・受付 8:00～17:00 (注)3/10役員受付 ・展示 終日 ・夫人プログラム ・エキスカージョン (A、B、ゴルフ)																																																																																																		
9:00	開会式																																																																																																	
10:30	ブレイク																																																																																																	
10:45	ゼネラルセッション I																																																																																																	
11:30	キワニスフォーラム																																																																																																	
12:30	昼食会																																																																																																	
13:30																																																																																																		
14:00	ゼネラルセッション II																																																																																																	
15:30	ブレイク	プレス会見																																																																																																
15:45	ワークショップ	15:30～16:00																																																																																																
16:45																																																																																																		
18:30	ウエルカムパーティー (ASPACナイト)																																																																																																	
21:30	-----																																																																																																	
・受付 8:00～17:00 ・デモンストレーション 12:00～14:00 (お茶、からくり人形、七宝焼き) ・展示 終日 (ロゴ入りポロシャツ、Tシャツ、有松絞り、七宝、万博グッズ) ・バザー 10:00～17:00 ・エキスカージョン (B)																																																																																																		
8:30	ゼネラルセッション III																																																																																																	
10:30	ブレイク																																																																																																	
10:45	ASPACフォーラム																																																																																																	
11:45	----- (役員ランチ) -----																																																																																																	
13:30	ASPAC合同役員会																																																																																																	
15:30																																																																																																		
18:30	フェアウエルパーティー・閉会式																																																																																																	
21:30	-----																																																																																																	
受付 8:30～11:00 展示 終日 (17:00～片付け) バザー 10:00～19:00																																																																																																		

(※6) 大会収支概計

(万円)

収 入		支 出	
登録料	1620	会議運営費	310
日本地区拠出金	500	会場費	1500
各クラブ負担金	560	事務(印刷・通信)費	190
協賛金・寄附金	1030	全体運営費	490
コンベンションビューロー補助金	110	宴会・会食費	1470
		その他	270
計	3820	計	4230

(注1) 差引△410万円は名古屋クラブ負担

(注2) 他に酒・飲料、生花、タバコ吸殻入等寄贈品多数

(※7) 大会登録者数

(人)

	会員	ゲスト	計	
国 内	270	65	335	
海 外	オーストラリア	10	6	16
	グアム	1	1	2
	インドネシア	4	1	5
	韓国	13	3	16
	マレーシア	30	6	36
	ニューカレドニア	10	5	15
	ニュージーランド	2	0	2
	フィリピン	24	3	27
	シンガポール	3	1	4
	台湾	282	10	292
	アメリカ	9	3	12
小計	388	39	427	
合 計	658	104	762	

(※8) サポーターズ

(五十音順・敬称略)

会員(賛助)			企業(商品提供)	ボランティア(サービス)
青山 光子	小竹 爽男	星野 義裕	サントリー(株)	あいち小児保険医療総合センター
安藤 雅子	小森 治雄	堀籠 登喜雄	麒麟麦酒(株)	刈谷少年発明クラブ
池田 芳原	佐々木 侑利子	前川 勲	アサヒビール(株)	瀬戸子供太鼓こまいぬ座
石田 雅子	渋谷 弘	三宅 大策	サッポロビール(株)	豊田通商チアリーダー部、DIMPLES(ディンプルズ)
伊藤 千衛	鈴木 裕俊	宮田 亮	中京コカ・コーラボトリング(株)	抹茶チーム(富田宏子、中村真知子、松山宏子、吉田典子、吉田麻衣子)
伊藤 宗太郎	杉本 正訓	深山 靖	大塚製薬(株)	名古屋観光コンベンションビューロー
入谷 正章	高木 弘	村上 和夫	(株)伊藤園	名古屋市消防音楽隊
大津 凡雄	都築 光昭	矢田 五夫	(株)ポッカコーポレーション	萬屋仁兵衛
大見 道夫	戸谷 良造	矢野 武	(株)アサヒ飲料	
尾関 利勝	二村 昌士	山岡 和彦	日本盛(株)	
片桐 清志	坂 芳雄	山川 皓	辰馬本家酒造(株)	
河合 恒人	平山 正之	山下 邦勝	富久娘酒造(株)	
鬼頭 昌子	福西 辰子	山本 光子	大関(株)	
木ノ原 長矩	福原 祥二	吉田 康彦	宝酒造(株)	

広告企業

(順不同)

トヨタ自動車(株)	あいおい損保(株)	中電興業(株)	(株)ユーフィット	東海旅客鉄道(株)
(株)豊田自動織機	名港海運(株)	中電ビル(株)	(株)UFJカード	ジェイアールセントラルビル(株)
トヨタ車体(株)	名古屋鉄道(株)	(株)新東通信	(株)セントラルファイナンス	(株)ジェイアール東海高島屋
豊田通商(株)	オリックス(株)	(株)UFJ銀行	日本ガイシ(株)	(株)ジェイアール東海ホテルズ
豊田紡織(株)	(株)中日新聞社	(株)中京銀行	(株)ジェイティービー	東海キヨスク(株)
(株)デンソー	中部電力(株)	セントラルリース(株)	日本車輛(株)	
豊田合成(株)	(株)トーエネック	(株)UFJ総合研究所		
EXPO2005 AICHI JAPAN				